

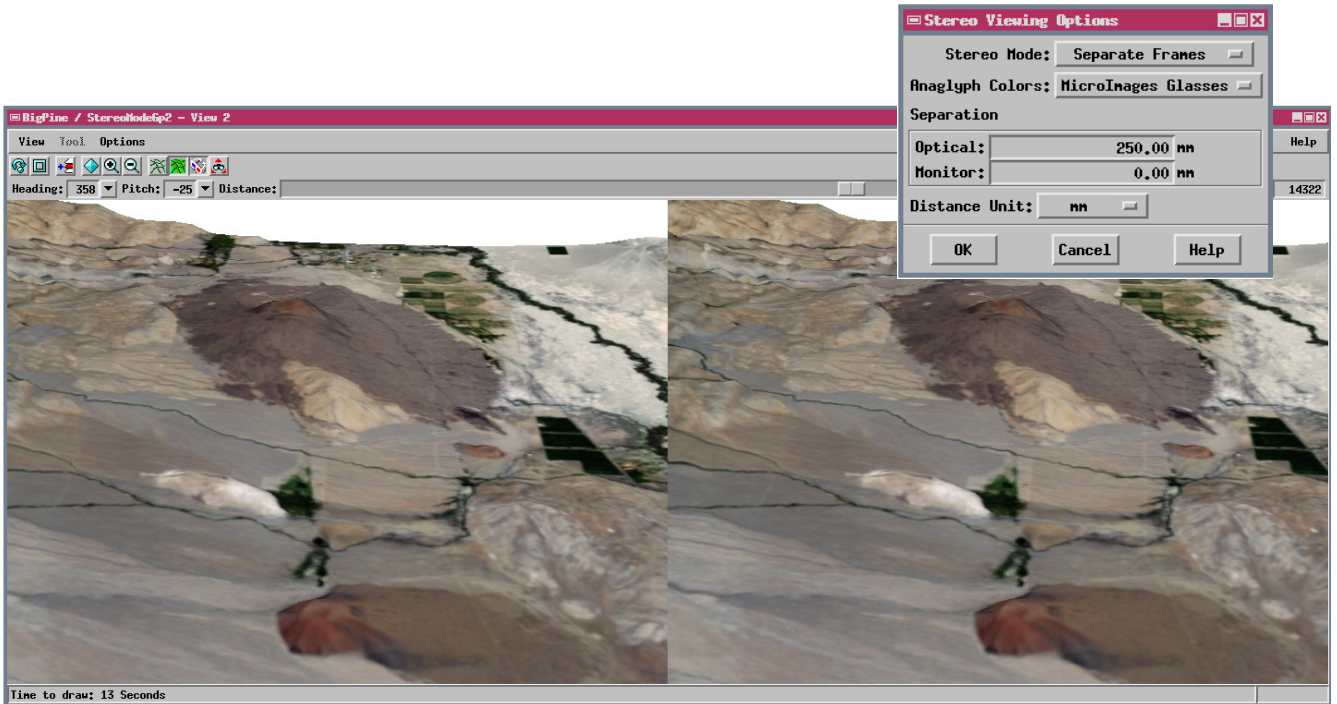
ステレオ表示モード

TNTmips の 3D 表示ウィンドウでは、様々な地表面レンダリングモード (*) とテクスチャフィルタを組み合わせた 2D/3D ステレオ表示が可能です。次のような異なるタイプのステレオ表示機器を使ったステレオ表示モードが利用できます。

- カラーフィルタメガネを使ったアナグリフ方式

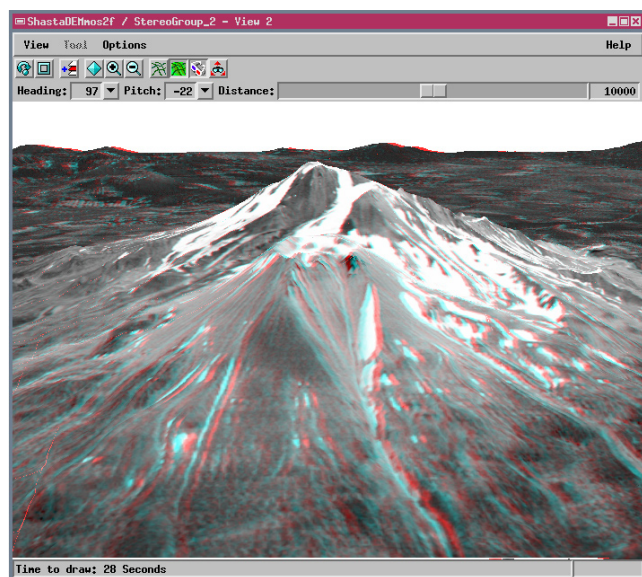
- 液晶シャッターメガネやインターレースステレオモニタ用の横インターレースおよび縦インターレース方式
- ステレオスコープを使った分離画像方式

*) TNT v7.1 以降、地表面レンダリングモードを選ぶメニューは削除されました (テクニカルガイド「3D 地表面レンダリングモード」参照)。

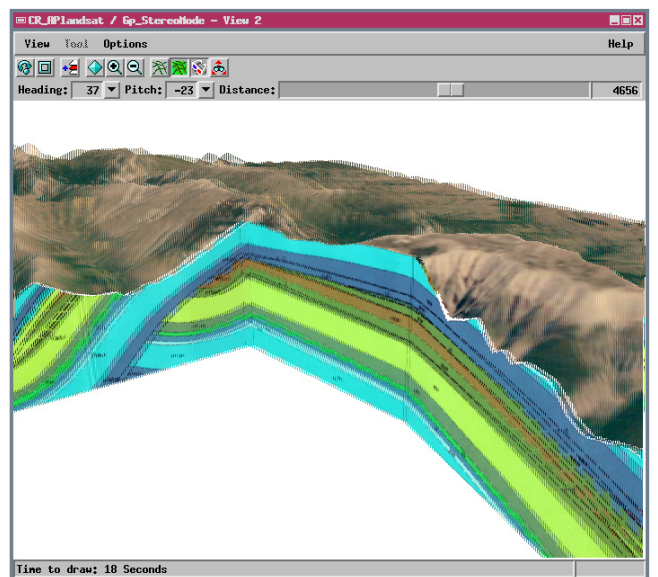


ステレオスコープを使う「分離画像」モードでのステレオ表示。このモードでは画面に2つのステレオ画像が並んで表示されます。〈ステレオオプション (Stereo Options)〉ダイアログで2つの画像の中心位置の光学的分離度をステレオスコープの大きさに合うように調節

できます。2台並べたモニタにステレオ画像を表示するように〈鳥瞰図表示 (Perspective View)〉ウィンドウを設定すると、モニタによってディスプレイ間に出来る隙間を補うため、モニタ間隔も設定できます。



赤青カラーフィルタのステレオメガネで見るためのグレイスケールドレープ画像。〈鳥瞰図表示〉ウィンドウの [オプション (Options)] > [ステレオ設定 (Stereo Setup)] でアナグリフによるステレオ表示オプションが選択できます。



地質断面を示す複数のマニフォールドがある縦インターレースステレオ表示。横インターレースモードも可能です。インターレースモードは液晶シャッターメガネやインターレース方式のステレオモニタで使われます。